



マキ自動車工業株式会社



「限りある資源の保護に挑戦」



創業者の経営理念を引き継ぎ、さらに車輛の高度化、複雑化に対応すべく、技術開発を進めると同時に、お客様への一層のサービスの充実に努めてまいります。今後とも関係各位様のご鞭撻をよろしくお願いいたします。

マキ自動車工業株式会社
代表取締役 大塚一之

「物をそまつにはいけない」そんな思いに駆られて自動車用ブレーキの生産を始めたのは、昭和38年のことでした。以来、安全の追求と資源の再利用を念頭に、ブレーキ関係、クラッチ関係を主軸として、独自の技術開発に積極的に取り組んできました。

今、情報化、国際化という大きな潮流の中で自動車業界の末端にありながらも初心忘れるべからず・・・。

「限りある資源の保護」を経営理念として、マキ自動車工業は挑戦してまいります。

会社概要

- 【名称】 マキ自動車工業株式会社
【設立】 1963年11月
【資本金】 1000万円
【従業員数】 80名（2018年7月末現在）
【所在地】

- 練馬支店(本社) 東京都練馬区関町南4丁目14番29号
電話 03-3920-1960 (代)
- 東大和支店 (本部) 東京都東大和市立野3丁目587番地4号
電話 042-562-1010 (代)
- 北関東支店 埼玉県熊谷市妻沼2314番地4号
電話 048-588-7862 (代)
- 西関東支店 埼玉県入間市狭山台3-4-13
電話 04-2934-6938 (代)
- 特車事業部 埼玉県入間市狭山台3-4-13
電話 04-2934-6933 (代)

会社沿革

- 1963年11月 東京都杉並区にて「杉並ライニング商会」として発足。
1967年3月 マキ自動車工業株式会社と改組織、社名変更する。
3月 東京都練馬区関町に本社を移転する。
1968年10月 東京都東大和市に業務拡大のため東大和支店開設。
集中生産工場併設。
1974年10月 東京都交通局指定工場となる。
1981年5月 株式会社多摩ライニングを吸収合併。
1991年1月 埼玉県熊谷市に大型部品再生・販売工場として、北関東支店開設。
1995年6月 リビルド製品拡大のため、特車事業部を発足。
1998年7月 埼玉県入間市に特車事業部と多摩ライニングを移転。
2010年6月 多摩ライニングを統合し、西関東支店を開設。
2013年1月 本社（練馬）を新店舗に移転、練馬支店に改称。

主な営業品目

- 大型車～軽車両まで 各種ブレーキライニング再生及び販売。
- 建設機械～軽車両まで 各種ラジエーター、インタークーラー修理及び販売。
- 大型車～軽車両まで クラッチカバー再生及び販売。
- 各種自動車部品研磨
ブレーキディスクローター・ドラム、フライホイール、プレッシャープレート
- 各種エア及び倍力装置の再生及び販売
エアドライヤー、ブレーキバルブ、クラッチブースター、パワーシフト、
ブレーキチャンバー、リレーバルブ、エキスパンダー
- 各種高圧ホース 修理及び販売
- 各種エアツール 修理及び販売
- 車検部品一式：整備キット、ベルト、エレメント、ベアリング、他
- 各種トレーラー部品
- 各種自動車部品・用品販売
- DPF マフラー洗浄、EGR クーラー洗浄

主な納入先

東京日野自動車株式会社	東京都交通局
関東いすゞ自動車株式会社	西武バス株式会社
いすゞ自動車首都圏株式会社	西東京バス株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社	関東バス株式会社
UD トラックス株式会社	立川バス株式会社
群馬日野自動車株式会社	京王電鉄バス株式会社
ヤマトオートワークス株式会社	
SG モーターズ株式会社	

(順不同)

主な仕入先

株式会社アクセス
明治産業株式会社
SPK 株式会社
明治自動車株式会社
トラック・バスメーカー ディーラー各社

主な取引銀行

三菱 UFJ 銀行 荻窪支店 立川支店
きらぼし銀行 久米川支店
多摩信用金庫 拝島支店

マキ自動車工業株式会社

練馬支店（本社）

〒177-0053 東京都練馬区関町南 4-14-29

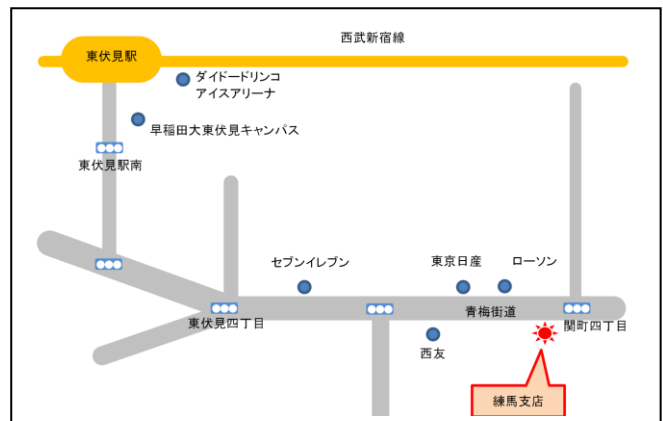
TEL 03-3920-1960 FAX 03-5991-5988



「杉並ライニング商会」から「マキ自動車工業株式会社」に変更し、ここ練馬で新たな一步を踏み出しました。

現在は、練馬区、杉並区を中心に、地域に密着した営業活動を行っております。

2013年1月に新店舗へ移転しました。



マキ自動車工業株式会社

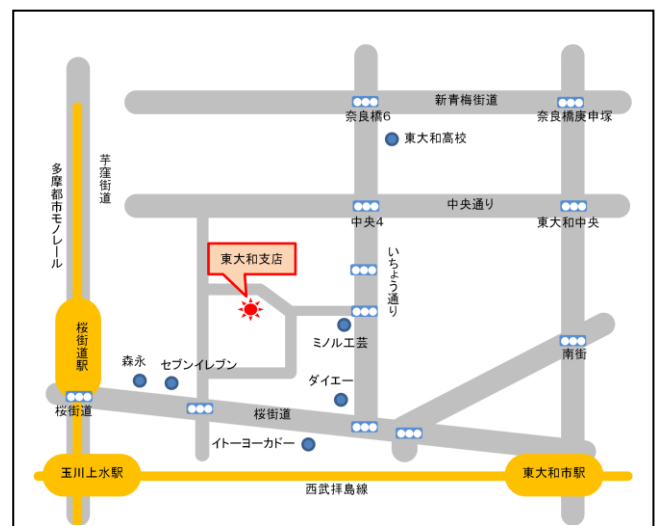
東大和支店（本部）

〒207-0021 東京都東大和市立野 3-587-4

TEL 042-562-1010 FAX 042-562-7415



マキ自動車工業の中核となっている支店です。総務・経理機能を担っています。甲州街道、青梅街道、川越街道、国道16号線に囲まれる多摩・埼玉南部エリアを担当しています。



マキ自動車工業株式会社

北関東支店

〒360-0201 埼玉県熊谷市妻沼 2314-4

TEL 048-588-7862 FAX 048-588-7863



北関東支店は埼玉県と群馬県の県境に位置し、自然に囲まれた生活しやすく、働きやすい環境にあります。その立地条件を生かして埼玉・群馬・栃木・茨城方面で営業活動を行っております。



マキ自動車工業株式会社

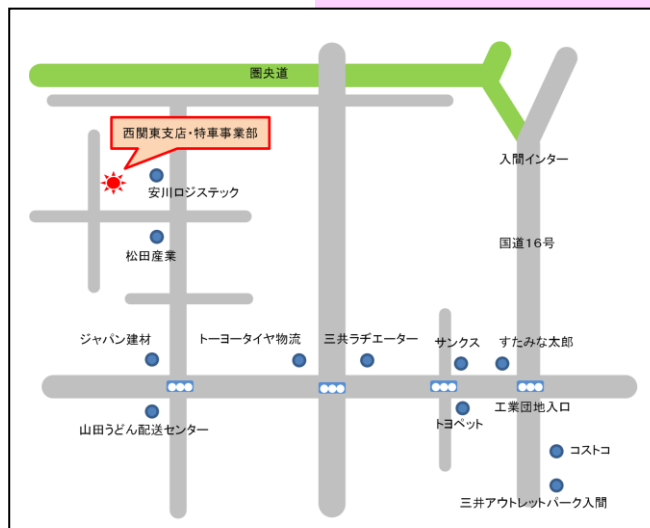
西関東支店

〒358-0033 埼玉県入間市狭山台 3-4-13

TEL 04-2934-6938 FAX 04-2934-6948



旧「多摩ライニング」から2010年6月にマキ自動車工業 西関東支店として統合発足しました。国道16号線の外側エリアを中心に埼玉県西部、秩父から八王子方面で営業活動を行っております。



マキ自動車工業株式会社

特車事業部

〒358-0033 埼玉県入間市狭山台 3-4-13

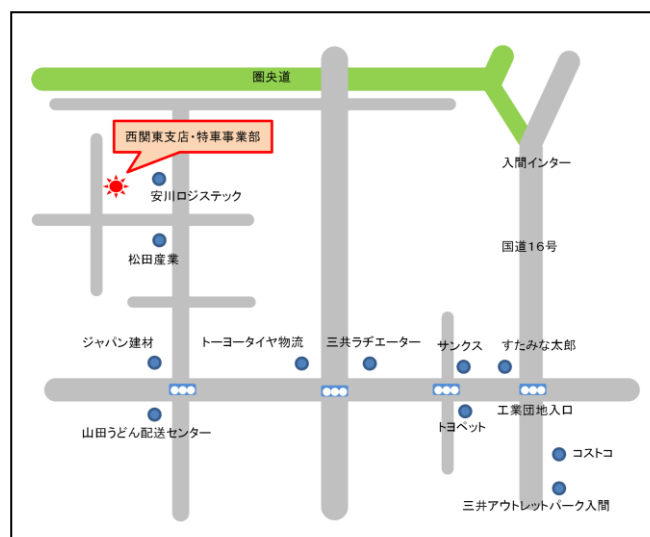
TEL 04-2934-6933 FAX 04-2934-6934



お客様の様々なニーズにお応えするため、1995年6月に特車事業部を発足。

エアドライヤーを始め、多くのリビルド商品をお客様へお届けしております。

特車事業部で集中生産し、各支店を通じてお客様へお届けしております。



リビルド エアドライヤー

エアドライヤーは、大気中の余分な湿気やゴミを取り除き、クリーンな圧縮空気を作ります。



リビルド ブレーキバルブ

ブレーキバルブは、ブレーキペダルを踏むことで発生するエアがチャンバーやエアマスターを介して車輻に制動をかけます。



リビルド クラッチブースター

クラッチブースターは、エアを利用してクラッチペダルの操作力を軽減します。

エア式、バキューム式、アクチュエータータイプなどがあります。



リビルド パワーシフト

パワーシフトは、シフトチェンジの操作力を軽減する装置です。



リビルド ブレーキチャンバー

ブレーキチャンバーは、スプリングやエアの力を利用してブレーキを効かせる装置です。ウェッジ式とスプリング方式に大別されます。



リビルド リレーバルブ

リレーバルブは、トレーラーヘッドから送られてくるブレーキエアをトレーラー（台車）側のブレーキシステムに効率よく配分し、応答性をよくします。



高圧ホース

建機やウィングカーの油圧ホース、整備工場等で使用しているスチーム洗車ホース・エアホースの修理をしています。
また、ホースサービスカーによる現地出張修理サービスもいたします。

新品ホース（5m 単位）も製作いたします。
ホースは横浜ゴム製です。



エアーツール類 修理

インパクトレンチ他、各種のエアーツールの修理を行っております。



純正リビルド エキスパンダー

エキスパンダーは、Sカム機構をウェッジ機構に変えたフルエアブレーキです。
特車事業部は、メーカーの純正リビルドのサプライヤーです。



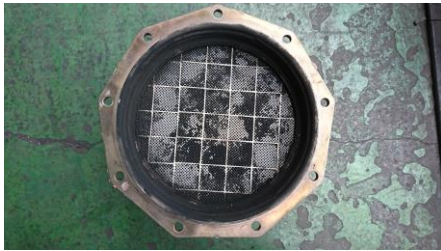
DPFマフラー洗浄

トラック・バスのディーゼルエンジンには、排気ガス中の黒煙を除くためマフラーにセラミックス製の DPF フィルター が装着されています。

※DPFの各社の呼称 いすゞ：DPD、日野：DPR、三菱ふそう：DPF、UD：UDPC
長年の使用により、再燃焼させても取り切れないススと、エンジンオイル由来の灰分（アッシュ）で、フィルターが目詰まりして故障の原因となります。各メーカーではDPFフィルターの洗浄を勧めています。

当社では、フィルターの差圧を新品の80%～90%まで回復させる独自の洗浄方法を開発しました。

また、一体式DPFマフラー、酸化触媒、SCR触媒も洗浄しております。



①洗浄前

洗浄前の差圧を計測

（洗浄後の差圧と比較するため）

※左の写真は排気ガス入口側で、ススで汚れています。



②洗浄作業

加温した洗浄液をポンプでフィルターに圧送（循環洗浄）

ススは溶かし流し、灰分は押し出します。

フィルターから出てくる洗浄液の様子を見て、洗浄がさらに必要か判断します。



③洗浄後

乾燥工程の後、洗浄後の差圧を計測

洗浄前より差圧が回復しているか比較

合格した物を、検査報告書を添付して出荷します。

※左の写真は乾燥中で、フィルターの中心部分が乾いて淡いベージュ色になってきています。

【当社のDPFマフラー洗浄の特徴】

(1) フィルター単体での差圧計測の実施

洗浄前と洗浄後の差圧計測により、差圧の回復状況を数値で把握します。

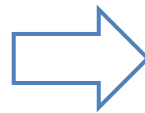
合格値まで差圧が下がった物を出荷します。

(2) 廃液処理を行っています

洗浄液は、下水道放流基準以上の重金属（鉛、亜鉛）を含む場合があるため、そのまま下水道に流すことはできません。このため、重金属類を不溶化させ、さらに粒子を大きくし、凝集沈殿させて濾過して分離。分離した重金属は専門業者へ処理委託しています。

EGRクーラー洗浄

当社の EGR クーラー洗浄は、洗浄液に漬け込み加温する「加温浸漬洗浄」方式を採用。細管内に詰まっている硬質カーボンを溶かし出します。洗浄後に、細管の貫通検査、細管の漏れ確認のため耐圧検査を実施。使用済みの洗浄廃液は廃棄物処理業者に処理委託しています。EGR バルブ、EGR パイプ、インレットマニホールド等も洗浄しております。



25680-E0021
日野 E-13CE/G



25680-E0251
QKG-E13C E/G
QPG-A09C E/G



17309-1090
HR7J 他



S17309-1120
RXJ 他



8-98030-582-3
KV・LV234L2・L3(1)



8-98063-863-0
KV・LV234L2・L3(2)



17309-1110
デュトロ



8-98164-570-1
エルフ



17309-1170
FD7J



25608-E0020
HX6 他



8-97376-786-1
8-97376-787-0
FRR90 2個使い



S1730-91020
PK-FW・SH



大型トラック用ブレーキライニング



フライホイール（研磨品）



ラジエーター

トレーラー部品

(左から)
ダイヤフラム
ブレーキチャンバー
カムシャフト
スラックアジャスター

